

# 出窓用収納ユニット C-1型(収納タイプ) C-2型(サイドボードタイプ)

## 施工説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお、施工後は、施主様に必ずお渡しください。

### ■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ▲注意** ……取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ■施工上のお願い

- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組み立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます)
- 製品を取り付ける際、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 本製品は、出窓本体・収納外部ボックス・出窓屋根・収納ユニットでひとつの商品になっています。出窓本体・収納外部ボックス・出窓屋根は、他のサッシと同時に取り付けてください。収納ユニットは、外壁下地・床張り完了後、内部造作時に取り付けしてください。カーペット・CFシー

### ▲注意

- 丁番固定用のねじの締め忘れ・ゆるみ等は、扉の脱落の原因となります。必ずガタつきがないように固定してください。
- 扉の吊り込みを行う場合は、扉の丁番カップがキャビネット側の座に「カチャ」と音がするまではめ込んでください。扉の落下の原因となります。

- ト・内壁張りなどは、本製品の取付け後に施工してください。
- 収納ユニットを取り付ける前に、出窓本体・収納外部ボックス及び出窓屋根の取付けが確実に完了していることを確かめてください。(開口幅・高さなど標準納まり図参照)
- 取付け完了後は、雨水・ホコリ等がかからぬようにしてください。また養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。
- 建物完成・引き渡しまで収納ユニット内部に道具や釘・金物類・塗料缶などを置かないでください。
- 窓枠及びケーシングは、別売り品となっております。他の造作材・壁厚に合わせてお選びください。

### ■部品の確認

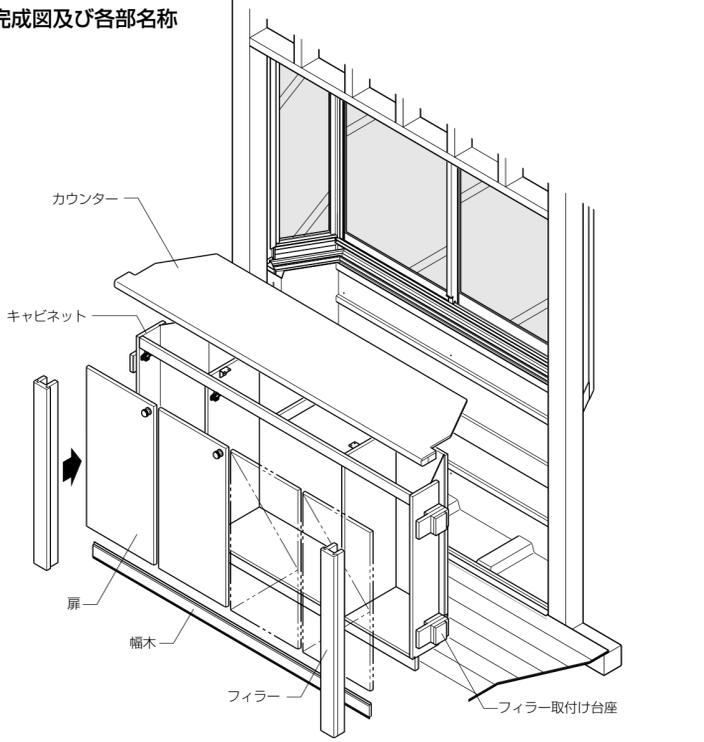
※組立て前に次の部品がそろっていることを確認してください。

タイプ	C-1 収納		C-2 サイドボード	
名称	パネル扉	パネル扉	パネル扉	ガラス扉
扉セット				
※図はプレーンタイプで表示してあります。				
把手	○×2個	2個	2個	2個
キャビネットフレーム				
棚板	※キャビネットの内装は木目の仕上げとなります。 ※棚タボはキャビネットに取付け済みです。			
本体セット	カウンター固定用			
	①	トラスタッピンねじφ4.0×10	4	
	側板固定用			
	②	トラスタッピンねじφ4×75	4	
フィラー固定用				
③	コンビトラスねじφ3.8×36	4		
フリーキャップ				
④		8		
フィラー・幅木セット	(フィラー) 左右兼用×2 (幅木)×1			
カウンター	LA用(FIXタイプ) LB用(引違いタイプ) SB用(シャッター付タイプ)			

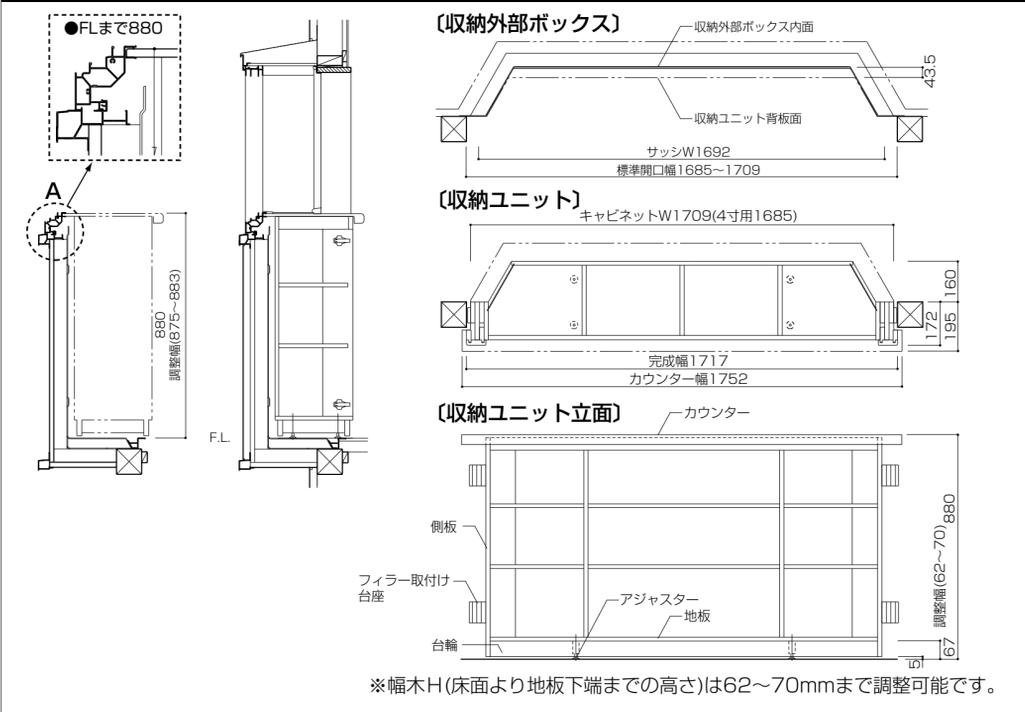
### ■取付け調整範囲

- 本製品は柱間芯々6尺・3寸5分柱用にセットしてあります。4寸柱を使用する場合は、組立て順序(1-2)に従って幅・奥行きを調整してください。
- 収納の水平及び高さの調整は、アジャスターの回転伸縮機能により可能です。

### ■完成図及び各部名称



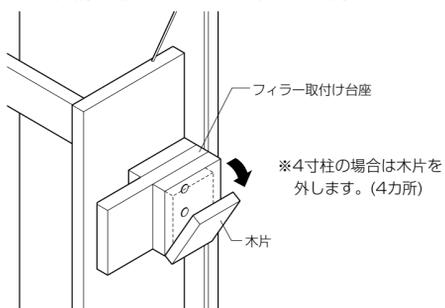
### ■標準納まり寸法参考図



### ■組立て順序

#### 1 組立ての前に

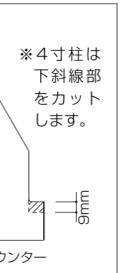
- ※キャビネットに取り付けられた凸型の4個の木片は、フィラーの取付け台座になりますので取り外さないでください。
- ※4寸柱を使用する場合は、キャビネット両側に付いているフィラー取付け台座の外側の木片(t12mm)を外してください。
- ※アジャスターは台輪下場より5mmでる状態で出荷されます。



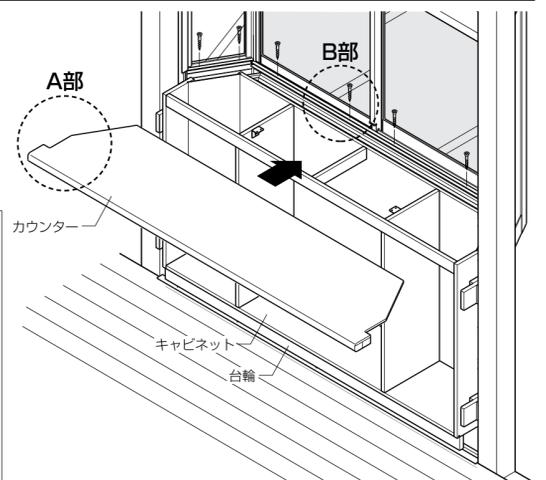
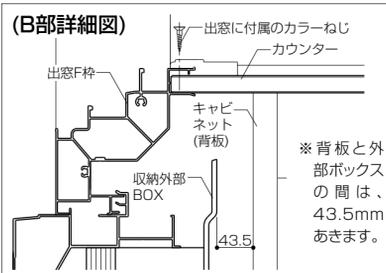
#### 2 キャビネットの仮置きとカウンターの固定

- 1 キャビネットを収納外部ボックスに仮置きします。
- 2 カウンターをキャビネットの上に仮置きします。(4寸柱の場合は図の斜線部分を切り取ってください。)(A部詳細図)  
※カウンターはメラミン樹脂加工されていますので、切断には堅木用のこぎりなどを使用してください。
- 3 カウンターを出窓に付属のカラーねじで出窓に固定します。(B部詳細図)

#### (A部詳細図)

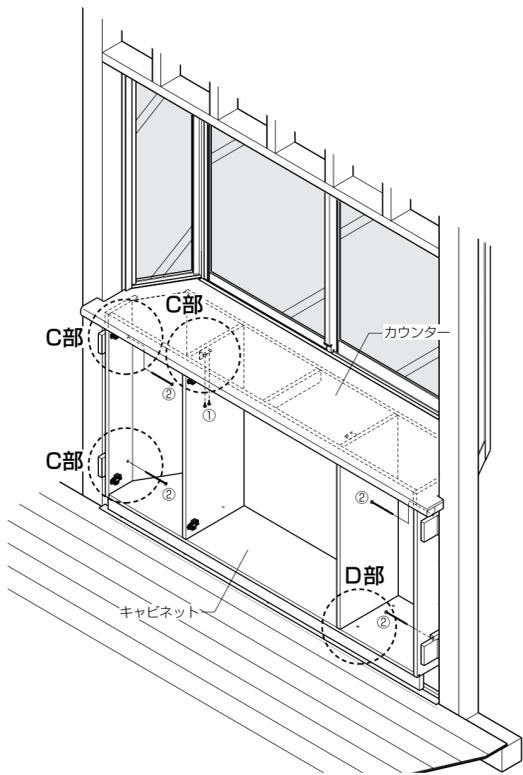


#### (B部詳細図)

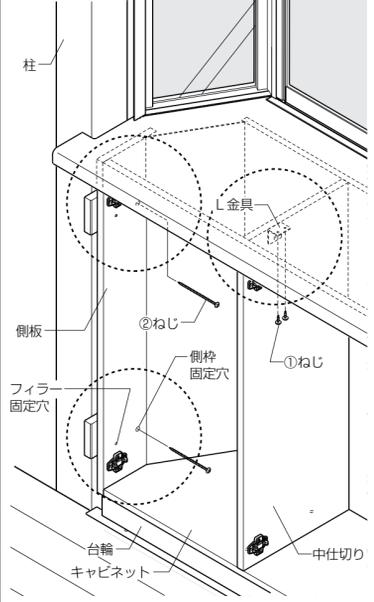


### 3 キャビネットとカウンターの固定

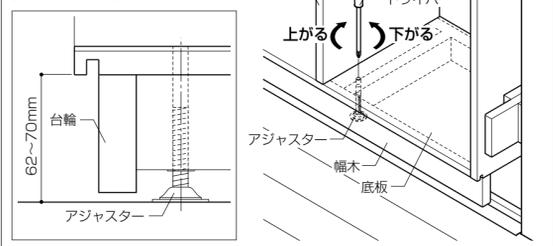
- 1 キャビネットがカウンターの中央になるように左右を調整します。
- 2 カウンターの水平を見ながらキャビネットの上端がカウンターに着くまでアジャスターを回して調整します。  
(アジャスターはキャビネット内部からもプラスドライバーで回せます。)(D部詳細図)  
※アジャスターはすべてが接地するように均等に調整してください。
- 3 キャビネット内部の中仕切りに付いているL金具と①ねじで、キャビネットとカウンターを固定します。
- 4 キャビネット側板にあいたねじ穴より②ねじで柱へ固定します。(C部詳細図)



#### (C部詳細図)

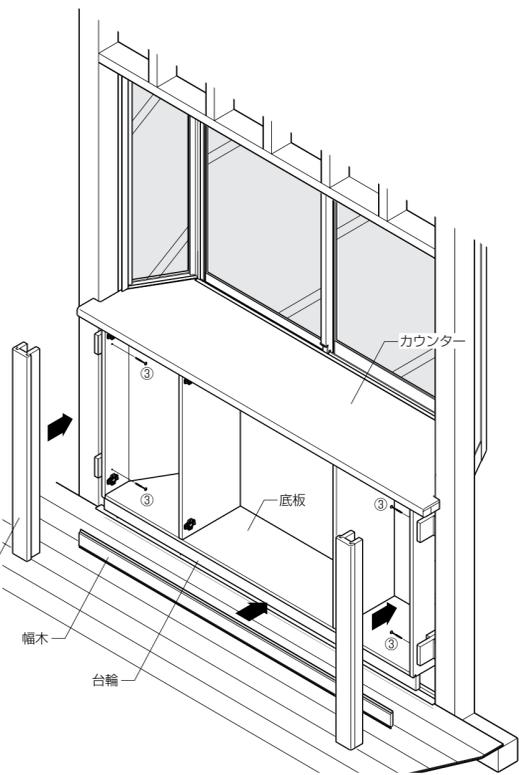


#### (D部詳細図)

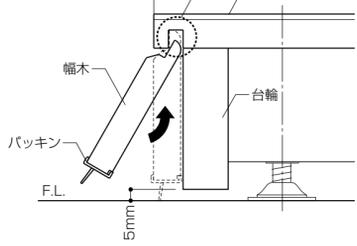


### 4 フィラー・幅木の取付け

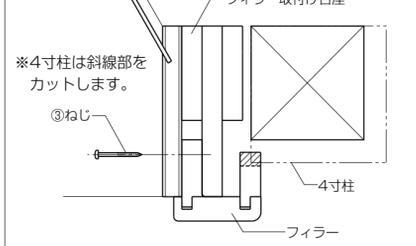
- 1 幅木裏面に接着剤(別途)を塗布し、底板の溝に合わせ、(図1)のようにパッキンの付いた方を下にして幅木をはめ込みます。  
※床仕上げによる取付け例は、下記の幅木納まり例を参照してください。
- 2 左右のフィラーをキャビネット内部より③ねじで固定します。  
※フィラーは長めにできていますので、床からカウンターの下端までの長さに合わせて切ってください。  
4寸柱の場合は、フィラー後部を切り取ってください。(図2)



#### (図-1)



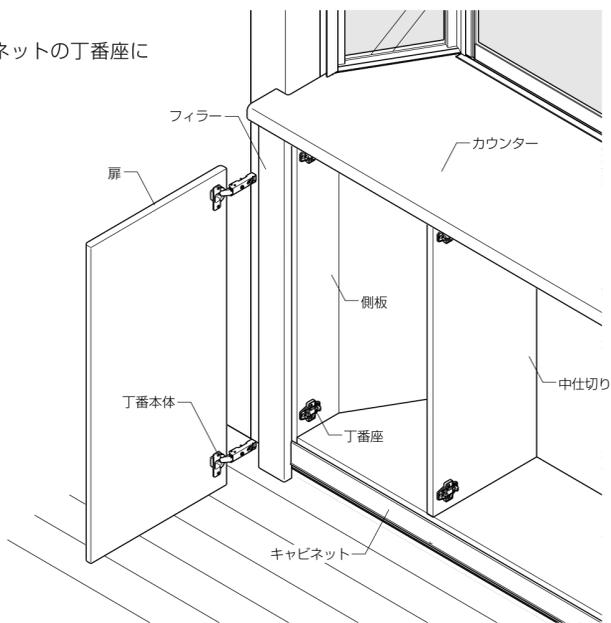
#### (図-2)



### 5 扉・引き出しの取付けと調整 (扉の取付け)

#### ① 扉のセット

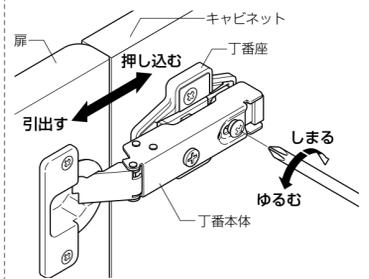
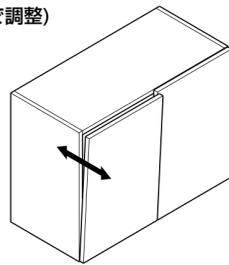
扉の丁番本体をキャビネットの丁番座に簡単にセットできます。



#### ② 扉の調整方法

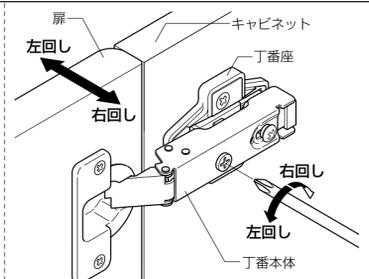
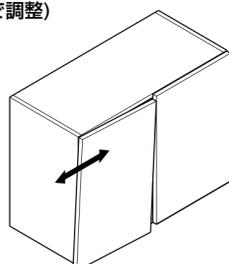
##### 【扉の前後調整】(丁番本体で調整)

横から見て、扉の前後にズレがあるときは、前後調整ねじをゆるめ、扉を調整した後、締め直してください。  
●調整量：前方向1.5mm 後方向1.5mm (合計3mm)



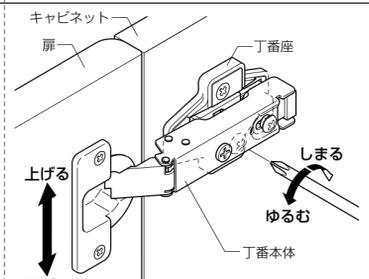
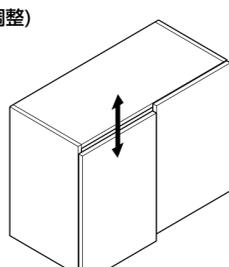
##### 【扉の左右調整】(丁番本体で調整)

前後調整ねじを締めたまま、左右調整ねじを回して扉を調整してください。  
●調整量：扉内方向2.5mm 扉外方向1.5mm



##### 【扉の上下調整】(丁番座で調整)

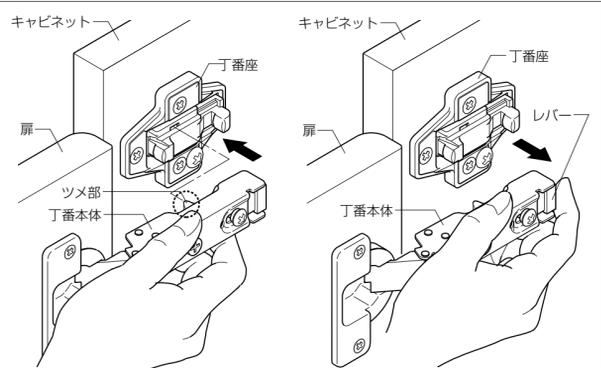
上下調整ねじをゆるめ、上下調整した後、締め直してください。  
●調整量：上方向1.5mm 下方向1.5mm (合計3mm)



##### 【扉目地、幅の調整】

隣りあった扉の透き間は、2mm、扉とフィラーの透き間は、2mmになります。隣りあった扉の上下目違いが生じた場合にも、左右調整で補正してください。

※丁番本体のツメ部が、丁番座にしっかり差し込まれていないと、丁番本体が外れることがあります。ご注意ください。また、丁番はレバーを押し込むだけで簡単に取り外せます。

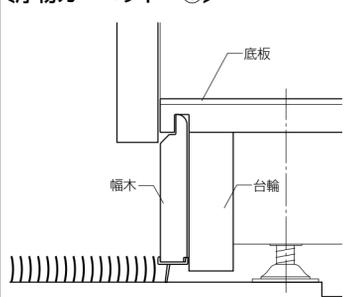


#### ▲ 注意

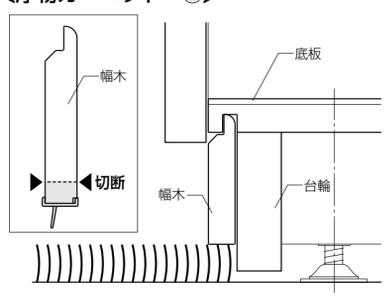
●扉の吊り込みを行う場合は、扉の丁番カップがキャビネット側の座に「カチャ」と音がするまではめ込んでください。扉の落下の原因となります。

### 幅木納まり図

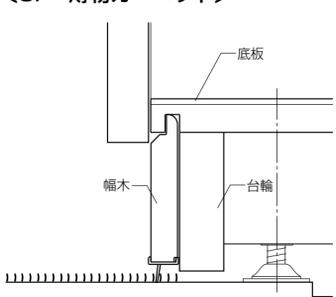
#### 【厚物カーペット：①】



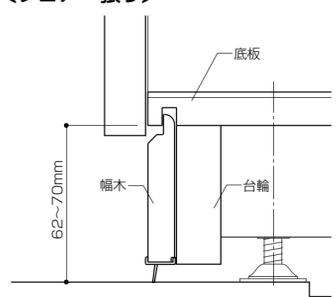
#### 【厚物カーペット：②】



#### 【CF・薄物カーペット】



#### 【フローア張り】



### 取付け完了後のお願い

●取付けがすべて完了したら、内部の側板固定ねじ穴と地板のアジャスター調整穴にフリーキャップをはめてください。棚板は左・右・中央の各2段ずつ、タボは棚板1枚につき各4個ずつです。